

ようこそ海星中学校へ

(下甌島・海星中学校への転入前のこの時期に必要な情報をまとめてみました)

海星中学校

〒896-1521

海星中学校鹿児島県薩摩川内市下甌町青瀬1034-1

TEL 09969-5-0054

FAX 09969-5-0321

1 学校紹介

(1) 概況

昭和53年4月、それまでの西山中、青瀬中、長浜中、内川内中の4中学校を統合し、ほぼ中央に位置する現在地に海星中学校として開校しました。平成28年度で創立39年目にあたります。(平成24年度より鹿島中休校のため転入・入学者を受け入れる。)

学校は青潮岳の中腹標高100mの高台にあり、天気の良い朝などは、眼下に広がる東シナ海の彼方に薩摩半島や桜島の姿が遠望できます。学校の周囲には人家がなく、豊かな自然に包まれた静かな学習環境です。



2 学校職員及び生徒数について

(1) 学校職員 (平成29年度)

校長	教頭	教諭	養教	栄教	事務	主事	合計
1	1	8	1	1	1	1	14

(2) 生徒数 【3学級】 (平成29年度)

1年		2年		3年		合計	
男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
2	3	1	2	1	5	4	10
5		3		6		14	



(3) 校舎・体育関係施設, 校庭

- 鉄筋3階建ての本校舎1棟(H17年に大規模改修済)教室の他、理科室、音楽室、美術室、技術室、家庭科室、図書室、パソコン室等の特別教室も完備。
- 体育館、25Mプール、200Mトラック、100M直線コースがとれる校庭があります。
- 学校にはパソコン室に生徒用ノートパソコン16台。普通教室や理科室にノートパソコンが各1台設置、インターネットに接続してあり、デジタルテレビや教材提示装置も接続しています。

また、職員用パソコン1人1台、プリンター(モノクロレーザー)が職員室にあり、校内LANでインターネットや校務サーバにつながっています。

(4) 生徒の様子

- ・ 純朴であり師弟同行の精神で小規模校の良さが見られます。特に登下校時のあいさつがよくなされ、本校の伝統になっています。
- ・ 大部分の生徒は徒歩通学で、自転車通学は許可していません。遠距離の生徒（西山地区）はスクールバスで通学します。（現在生徒はいません）
- ・ 部活動は、男女バレーボール部と陸上部があります。
- ・ 公立高校は、県下どこの高校でも受検できます。全県学区。

※ 甑島には高校がないので、中学校卒業後「島立ち」して、島外の高校へ進学します。

3 校区の概要

(1) 瀬々野浦地区（旧西山小校区，現長浜小校区）

西海岸に面し、長浜港より13km（車で約30分）、青瀬より12km（車で約25分）の位置にあり、ナポレオン岩に代表される断崖絶壁が連なっています。スクールバスで通学します。

(2) 青瀬地区（旧青瀬小校区，現長浜小校区）

東海岸に面し、長浜港より約6km（車で約10分）の位置にあります。青瀬地区と瀬尾地区に分かれ、大部分が青瀬地区に住んでいます。産業は定置大敷網を主にした瀬尾地区の漁港が拠点となっています。瀬尾には、観音三滝があり、キャンプ場として整備されています。海星中学校までは約2km（車で約5分）。

(3) 長浜地区（長浜小校区）

下甑島のほぼ中央東側に位置しています。本土から高速船、フェリーの寄港地です。航空自衛隊のレーダ基地があり、自衛隊関係者も多く、活気があります。港から海星中まで約4km、車で約10分かかります。少し離れて芦浜地区があります。そこからはスクールバスで通学します。

(4) 鹿島地区（鹿島小学校校区）

下甑島の最北端にあり、集落は密集しています。長浜港から船で30分、車で20分の位置にあります。スクールバスで通学します。

(5) 内川内地区（長浜小校区）

西海岸に面し、標高300mの山の中腹に家々があります。長浜港より9km、車で約20分の位置にあります。スクールバスで通学します。



4 生活環境について

(1) 住宅について

学校の近くには人家はありません。職員は、長浜か青瀬の職員住宅に住むこととなります。民家の借家等も少しありますが、現在、全ての職員が教職員住宅に住んでいます。市営の教職員住宅は、長浜に4戸（含校長住宅、青瀬に8戸（含教頭住宅）あります。（入居済みを含む）

(2) 小学校と幼稚園

青瀬に、「かのこ幼稚園」「下甕保育園」があります。

（かのこ幼稚園は平成24年度に、青瀬小学校跡に移転。保育園は平成25年度開園）

(3) 商店・金融関係

- ・ 長浜には、ホテル、民宿、食堂、理容店、雑貨店、スーパー、飲み屋、釣具店等が揃っています。
- ・ 青瀬には、時々青瀬漁業生産組合による鮮魚の販売もあります。
- ・ 車のガソリン（ハイオクなし）
- ・ 灯油等は長浜と手打にガソリンスタンドがあります。

※ 平成29年2月現在：レギュラーガソリン価格は153円（税別）！

- ・ 長浜には「自動車整備工場」もあり定期点検も車検もできます。
- ・ 銀行は「南日本銀行」のみが手打に支店を置いています。長浜に南日本銀行の現金自動受け払い機が有ります。鹿児島銀行のカードで引き出しもできます。（手数料あり）
- ・ 郵便局は長浜・青瀬・西山にあります（青瀬局のATMは土曜日でも使えます）。
- ・ コンビニ（24H）、時計店、スポーツ店、携帯電話店、ファミレス等はありません。
- ・ 書店がありませんので必要な書籍は島外の書店等に注文する必要があります。

(4) 携帯電話の使用について

- ・ 長浜、青瀬地区ではドコモ、au、ソフトバンクが使用できます。
- ・ 海星中学校ではドコモ、auが使用できます。

（近くにソフトバンクのアンテナが立ちましたが、学校には電波が届きません。）

(5) 医療施設について

- ・ 市営の診療所が長浜、手打にあります。手打の診療所では内科や外科の手術も出来るよう施設も整備されています。どちらの診療所にも定住の医者が1名います。また、青瀬地区にも週1回、巡回で来ます。
- ・ 市営の歯科診療所は青瀬にあり専門医がいます。

(6) 水道・ガスなどについて

- ・ 水道施設も完備しております。水源は豊富で少雨の年でも断水の心配はほとんどありません。ガスはプロパンガスです。

(7) テレビについて

- ・ 共同アンテナで住宅まで配線されていて映像はきれいです。

(8) その他

- ・ 海に囲まれ暖流の影響で、一年中温暖で霜がめったにありません。冬は北西の季節風が強いです。
- ・ 道路は完全舗装で整備されていますが、現在も拡張工事をしており年々住みやすくなっています。

- ・ 釣り（クロ釣りやイカ釣りのパラダイス）、バードウォッチング、登山、史跡めぐり等何でも楽しめます。

5 船便について・・・詳しくは[「甌島商船ホームページ」](#)をご覧ください！

- (1) 「フェリーニューこしき」を利用する場合（人・車両が同時に乗船できる。車を載せる場合には予約が必要です。2ヶ月前から予約できます。人だけなら予約はありません。）

車の予約は「甌島商船フェリー予約センター（受付・月曜～土曜8：30～17：00）」

TEL0996-32-6458（0996-32-8232）

※ 日・祝の場合は「九州海運」へ。当日分から1週間分のみの受付です。

TEL0996-32-2161（8：30～15：30）

○ **船賃大人2，300円，小人1，150円（串木野—長浜）** ※平成30年3月現在

○ 車航送料（5M未満9，890円，4M未満8，450円運転手込み）

- (2) 「高速船甌島」を利用する方法（予約を入れることもできます）

○ **船賃大人3，380円，小人1，700円（川内—長浜）**

- (3) 長浜港に青瀬や長浜へは船に接続する「**市営バス**」があります。（1回150円）

- (4) 「離島住民割引」の制度があります。串木野新港で受付しています。

離島に住んでいる証明できるもの（住所が書かれている運転免許証，保険証，住民票など）が必要になります。

○ **フェリー（串木野—長浜）：片道 大人1，550円（子ども 780円）**

往復 大人2，950円（子ども1，480円）

○ **高速船（川内—長浜）：片道 大人2，320円（子ども1，120円）**

往復 大人4，230円（子ども2，120円）

※ 車両航走や島内間の場合は，割引はありません。

- (5) 貨物船「フェリーゆうき」を利用する方法（車は無人でも輸送してくれる）

○ 人は「高速船甌島」または「フェリーニューこしき」を利用します。

○ 運行ダイヤや運賃など詳しいことは・・・

（有）五色産業フェリーゆうき予約センター [TEL:09969-2-1122](tel:09969-2-1122)

6 赴任にあたって～甌島の住宅・引っ越し関係～

- (1) 「発表日」にまず学校へご連絡ください。その上で、こちらから連絡します。
- (2) 家族構成を考慮して市営教職員住宅（多少古い）を学校で手配します。住宅はあまり広くはありませんので必要なものを厳選する等の工夫が必要です。
※ 単身者用ワンルーム，家族用3K〔基本4畳半×2，6畳（一部6畳×3）〕
→ 場所や間取り等は，後日FAX等でお知らせします。事前に下見にくる必要はないと考えます。
- (3) 島への到着日は船便の関係で，3月31日，4月1日になります。
※ 学校の方で車やトラックの分のフェリーを事前に予約しています。
→ 発表後の海星中とのやりとりの中で，予約番号等をお知らせします。
※ 車と荷物が別の日になる場合がありますのでその点はお含みおきください。
(この日以外をご希望の場合はご相談ください。)
- (4) 大手の引っ越し業者でも甑島への引っ越しは断られることが多いです。甑島商船のグループ会社「九州海運」のトラックか，こちらから引っ越しをする日との荷物を運ぶ地元の会社のトラックを使うことが一般的です。また，これまでトラックをレンタルして引っ越しされた方もいます。(泊を伴います)
※ 各自で安い運送業者やトラック等を見つけても構いません。
- (5) 荷物はトラックごと船積みになりますので，荷作りは本土並で結構です。
※ ほかの離島のような「コンテナ」の手配等はありません。
- (6) 車か単車は必需品です。(住宅～学校間は約2，3～3，5km，急な坂道があります。)
* 詳しいことは海星中学校にお問い合わせください。

下甑島は素晴らしい史跡・郷土芸能等豊富にあり人情豊かなところです。
保護者・生徒・職員，地域をあげて，皆様のお越しをお待ちしております。

